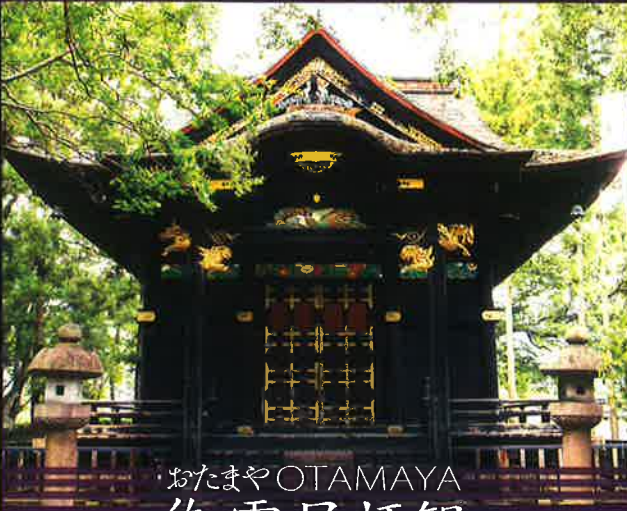


信州

信州松代・真田・山・ちゅうぐんし

長國寺

史跡長國寺拝観券



おたまや OTAMAYA
御霊屋拝観

◆ 霊屋外部と葺祈年観 II

史跡長國寺
保存管理委員会



CHOKOKUJI
ホームページ <http://chokoku-ji.jp/>
Tel.026-278-1270

◆真田家略系譜



◆初代藩主信之公靈屋と表門 (重要文化財)

万治三年(一六六〇)の建立で、昭和五五年に解体復元工事が完成。桁行三間、梁間四間の入り母屋造り、平入りで、屋根はコケラ葺き、正面には唐破風造りの向拝がある。内部は、内陣と外陣に分けられ、内陣の正面には須弥壇を設け、壇上中央には釈迦像、その左右に信之公夫妻の位牌を安置している。霊屋内外を飾る彫刻・絵画も優れた技法のもので、江戸時代前期霊屋の遺構としては、全国的にみても高い水準にある。

◆四代藩主信弘公靈屋と表門 (長野県宝)

元文元年(一七三二)の建立で、昭和五六年に解体復元工事が完成。三間四方の宝形造り、コケラ葺きで、正面には向拝がつけられている。初代藩主の霊屋に比較して、簡素である。

◆旧松代藩主の霊屋と墓所 (史跡)

明治のはじめごろまでの霊屋は、初代から四代までの藩主のもの四字と、松寿院(二代藩主の側室)をはじめとする歴代藩主の側室がたの位牌を安置したもの一字の全部で五字であったが、現在は二字のみである。

また旧藩主の墓所には、初代から十二代までの歴代当主(十三代は東京の青山墓地)と、早逝した子女の墓がある。婦人と側室の墓はない。真田幸村(信繁)、大助(幸昌)父子の供養碑があるが、遺骨は納められていない。